

選ばれる企業は、はじめてる

ESGをビジネスに

ESGとは環境・社会・ガバナンスを意識した取り組みのこと。本業を通じて環境や社会課題の解決に取り組むことは、経営リスクを回避するとともに社会への貢献や地域の信頼獲得するだけにとどまらず、新規取引先の獲得や新しいビジネスチャンスの創出にもつながります。つまり、ESGをビジネスに取り込む企業は“選ばれる”のです。

今回のテーマは

●地域循環共生圏

地域の資源を、環境に配慮された持続可能なかたちで循環させる自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて補完し支えあう考え方のこと。環境に負荷を与えない地方経済の発展、環境社会の保全と活用が実現できれば、地域の活力が最大限に発揮され、よりよい街づくりが可能になるのです。



グッドライフアワード

環境省が提唱する、「地域循環共生圏」の理念を具現化する「グッドライフ」な取り組みの認知を広げるためのプロジェクト。環境と社会にとって良い活動を行う企業や学校、NPO、自治体、地域コミュニティなど様々な団体が受賞しています。

Pick UP!

株式会社みんなの奥永源寺

0748-56-1194
東近江市君ヶ畑町844



公式HPはこちら



奥永源寺地域の活性化のため、「政所茶」「木地師発祥の地」「紫草(ムラサキ)」「鈴鹿10座」をテーマに、体験ツアーの開催や特産品の開発などを行う。特に無農薬有機栽培の「紫草」の活用で注目を集める。



教えてくれたのは…
前川真司社長

わが社の取り組み

1. 絶滅危惧種「紫草」の保存
2. 耕作放棄地の活用
3. 地域との連携
4. 社会派化粧品の開発



自然豊かな奥永源寺の贈りもの希少な“紫根”で地域を活性化

東近江市の市の花である「紫草(ムラサキ)」は、古くは万葉集にも登場し、染料としても利用されていた。現在は絶滅危惧種に指定されているが、地域の人々の協力を得て耕作放棄地を活用し、種の保存に取り組んでいる。こうした持続可能な環境社会実現への取り組みが評価され、「第6回環境省グッドライフアワード サステナブルビジネス賞」を受賞。

「MURASAKInoORGANIC」
高い保湿力と優れた保温効果を持つ「紫根」のチカラで、みずみずしい肌へと導いてくれると話題に。



オーガニックな社会派化粧品で持続可能な循環型社会の形成を目指す

「MURASAKInoORGANIC」に必要な「紫草」は、地元住民が栽培したもの。今後は、オーガニックな社会派化粧品の提供や地域の環境整備を通じて、新たな雇用と地域の活力を生み出し、奥永源寺の魅力をより多くの人へ発信したいと考えているそう。



実はコレ、

SDGsとも関係してる

「SDGs(エスディーゼズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットで決められた、国際社会共通の目標のこと。

11 住み続けられるまちづくりを



「都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする」ことを目的とした開発目標のひとつ。

地域を経済・社会・環境面から強化することで、少子化・人口流出などに対応していくことが望まれています。

ESGを意識して選ばれる企業に